

小型表層曳網によるサンマの漁獲

漁業生産工学部

研究の背景・目的

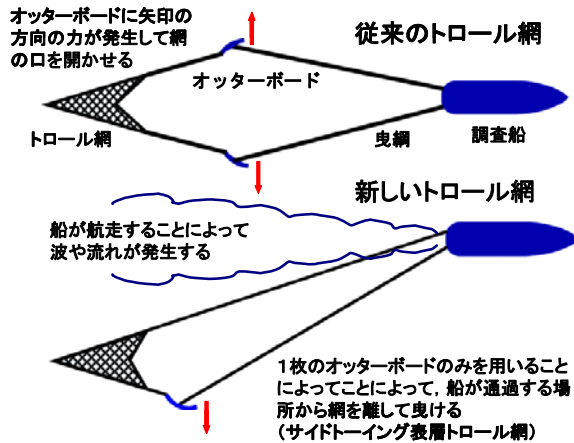
1. サンマの成魚のサンプリングは大型表中層トロール網でおこなっており、小型の曳網ではサンプリングが難しかった。
2. サンマの小型定量採集具を開発するために、さより二艘曳漁業で用いられている曳網を航跡から離れた位置で曳網(サイドトローイング曳網)して、サンマの採集を試みた。

研究成果

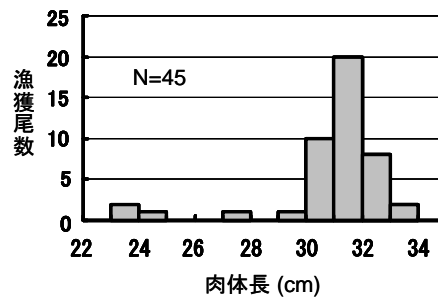
1. さより二艘曳漁業で用いられている曳網をサイドトローイング曳網することにより、肉体長が30cm~33cmの大型魚を採集することができた。
2. サヨリ曳網は、遊泳力のついたサンマ稚魚を定量的に採集するための小型採集具の基本形になる。

波及効果

遊泳力のついた稚魚類を定量的に採集するための小型採集具の開発が可能となる。



サイドトローイング曳網概念図



採集されたサンマの肉体長組成

(漁法研究室・渡部俊広)